

アーティストトークシリーズ vol.1

荻野夕奈 + 田中加織 + チェ・ユンジョン が語る

【10年前・現在・10年後】

日時：2017年10月21日(土) 午後3時30分～
会場：HRDファインアート

鞍馬口アートインスティテュートでは、HRDファインアート（京都・鞍馬口）で開催されるグループ展「FLOATING」に参加出品する日韓3名の女性ペインターによるアーティストトークを行います。個人の制作の話には留まらず、お互いの聞きたいこと、話したいことを主体にお話しいただく予定です。

彼女たちにとっての現在、学生であった10年前、そしてまだ迎えぬ10年後。

それぞれの作品、アーティストとしての人生についてなど、オーディエンスもまじえてなごやかな雰囲気でも語り合う場となります。今、制作している人々、そしてこれから制作していく人々にも興味を持っていただけるトークセッションになればと考えております。



荻野 夕奈 (おぎの ゆうな)

1982年東京生まれ。東京藝術大学大学院修了。

身近な植物や昆虫などを中心的なモチーフにしたその油彩画は、具象絵画と抽象絵画の間を揺れ動くような表現を特徴としています。油彩ならではの大胆な即興性と、つぶさな観察に基づく繊細な技巧が混在するその制作プロセスは、自らを取り巻く世界と画家自身との関係性を手探りで確かめる行為の結果としても捉えることができます。

田中 加織 (たなか かおり)

1982年京都生まれ。成安造形大学洋画科研究生修了。

禅寺などの伝統的な日本庭園や富士山などの象徴的なフォルムを取り入れた幻想的な風景絵画を制作しています。ピンクやグリーン、イエローなど、ポップでビビッドな色調の油彩で描き出される庭園や霊山の風景は、幸福感に満ちた理想郷のようでもあり、実体のないバーチャル性に支配された現代社会の不穏さの表象のようでもあります。



チェ・ユンジョン (ちえ ゆんじョン)

1983年韓国ソウル生まれ。ソウルの弘益(ホンイク)大学美術学部で絵画を専攻。

チェの作品は閉ざされた室内の情景を描き出すものが多く、コラージュ的な画面構成や、メリーゴーラウンドや毛糸玉など特定のモチーフが繰り返し登場する点はシュルレアリスムの手法の援用と言えますが、抑制された色調と無機質な描写は突き放すような印象を与え、それがかえって強い感情を引き起こします。



荻野 夕奈



田中 加織



チェ・ユンジョン

会場 = HRDファインアート

住所：京都市上京区上御霊壱町494-1

交通：地下鉄烏丸線鞍馬口駅から徒歩1分

お問合せ：<http://www.hrdfineart.com>

T: 090-9015-6087

E: info@hrdfineart.com

